

今回届け出る規定	現行規定
<p>第 1 章 総則 （略）</p> <p>第 2 章 著作物の使用料</p> <p>第 1 節 演奏等</p> <p>1～9 （略）</p> <p>10 <u>歌謡教室</u>における演奏等</p> <p>受講者に歌唱を教授する事業を行う施設（以下「<u>歌謡教室</u>」という。）において、当該事業とともに著作物を演奏等する場合の使用料は、本節 1 から 9 <u>及び 11</u> の規定にかかわらず、次により算出した金額に、消費税相当額を加算した額とする。</p> <p>(1) 年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の 1 施設<u>当たり</u>の年額使用料は、受講料収入算定基準額の 2.5/100 の額とする。</p> <p>(2) (1) によらない場合の使用料は次のとおりとする。</p> <p>① 1 施設<u>当たり</u>の月額使用料は、下表のとおりとする。</p> <p>（略）</p> <p>（<u>歌謡教室</u>における演奏等の備考）</p> <p>①～② （略）</p> <p>（受講料）</p> <p>③ 受講料とは、いずれの名義をもってするかを問わず、講座を受講するに<u>当たり</u>通常必要となる受講者 1 人<u>当たり</u>の料金（消費税額を含まないもの。）をいう。ただし、別途特別な教材費<u>及び</u>会場使用料の負担の明示がある場合には、その額は受講料に算入しない。</p> <p>会費制等により講座ごとの受講料の定めがない場合は、当該会費収入等の範囲内で利用状況等を参酌して、受講料を算出する。</p> <p>④～⑤ （略）</p> <p>（月間受講料）</p> <p>⑥ 月間受講料とは、当該施設で行われる 1 講座 1 か月<u>当たり</u>の受講料（受講料に等級区分がある場合は、その算術平均額とする。有料と無料が混在する場合は、無料は含めない。）をいう。ただし、1 回の教授ごとに受講料を支払う場合は、4 回の受講料を月間受講料とみなす。</p> <p>⑦～⑪ （略）</p> <p>（<u>削除</u>）</p> <p>⑫ (1) 及び (2) にかかわらず、専ら受講者に歌唱を教授する事業であって、かつ、年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の 1 施設<u>当たり</u>の月額使用料は、次のとおりとすることができる。</p>	<p>第 1 章 総則 （略）</p> <p>第 2 章 著作物の使用料</p> <p>第 1 節 演奏等</p> <p>1～9 （略）</p> <p>10 <u>音楽教室</u>における演奏等</p> <p><u>楽器教室、歌謡教室その他の受講者に楽器演奏又は歌唱等</u>を教授する事業を行う施設（以下「<u>音楽教室</u>」という。）において、当該事業とともに著作物を演奏等する場合の使用料は、本節 1 から 9 の規定にかかわらず、次により算出した金額に、消費税相当額を加算した額とする。</p> <p>(1) 年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の 1 施設<u>あたり</u>の年額使用料は、受講料収入算定基準額の 2.5/100 の額とする。</p> <p>(2) (1) によらない場合の使用料は次のとおりとする。</p> <p>① 1 施設<u>あたり</u>の月額使用料は、下表のとおりとする。</p> <p>（略）</p> <p>（<u>音楽教室</u>における演奏等の備考）</p> <p>①～② （略）</p> <p>（受講料）</p> <p>③ 受講料とは、いずれの名義をもってするかを問わず、講座を受講するに<u>あたり</u>通常必要となる受講者 1 人<u>あたり</u>の料金（消費税額を含まないもの。）をいう。ただし、別途特別な教材費、会場使用料<u>及び楽器使用料</u>の負担の明示がある場合には、その額は受講料に算入しない。</p> <p>会費制等により講座ごとの受講料の定めがない場合は、当該会費収入等の範囲内で利用状況等を参酌して、受講料を算出する。</p> <p>④～⑤ （略）</p> <p>（月間受講料）</p> <p>⑥ 月間受講料とは、当該施設で行われる 1 講座 1 か月<u>あたり</u>の受講料（受講料に等級区分がある場合は、その算術平均額とする。有料と無料が混在する場合は、無料は含めない。）をいう。ただし、1 回の教授ごとに受講料を支払う場合は、4 回の受講料を月間受講料とみなす。</p> <p>⑦～⑪ （略）</p> <p>（<u>歌謡教室</u>における演奏等）</p> <p>⑫ (1) 及び (2) にかかわらず、専ら受講者に歌唱を教授する事業であって、かつ、年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合の 1 施設<u>あたり</u>の月額使用料は、次のとおりとすることができる。</p>

今回届け出る規定	現行規定																				
<table><tr><th>講座 1 回<u>当たり</u>の平均受講者数</th><th>月額使用料</th></tr><tr><td>5 名まで</td><td>4,500 円</td></tr><tr><td>10 名まで</td><td>9,000 円</td></tr><tr><td>30 名まで</td><td>18,000 円</td></tr><tr><td>50 名まで</td><td>27,000 円</td></tr></table> <p>講座 1 回<u>当たり</u>の平均受講者数が 50 名を超える場合の使用料は、50 名までを超えるごとに、講座 1 回<u>当たり</u>の平均受講者数が「50 名まで」の場合の金額に、講座 1 回<u>当たり</u>の平均受講者数が「10 名まで」の場合の金額を加算した額とする。</p> <p>（その他）</p> <p>⑬ <u>歌謡</u>教室における演奏等のうち、利用の態様に鑑み本規定により難しい場合の使用料は、利用者と協議のうえ、本規定に定める使用料額の範囲内で決定する。</p>	講座 1 回 <u>当たり</u> の平均受講者数	月額使用料	5 名まで	4,500 円	10 名まで	9,000 円	30 名まで	18,000 円	50 名まで	27,000 円	<table><tr><th>講座 1 回<u>あたり</u>の平均受講者数</th><th>月額使用料</th></tr><tr><td>5 名まで</td><td>4,500 円</td></tr><tr><td>10 名まで</td><td>9,000 円</td></tr><tr><td>30 名まで</td><td>18,000 円</td></tr><tr><td>50 名まで</td><td>27,000 円</td></tr></table> <p>講座 1 回<u>あたり</u>の平均受講者数が 50 名を超える場合の使用料は、50 名までを超えるごとに、講座 1 回<u>あたり</u>の平均受講者数が「50 名まで」の場合の金額に、講座 1 回<u>あたり</u>の平均受講者数が「10 名まで」の場合の金額を加算した額とする。</p> <p>（その他）</p> <p>⑬ <u>音楽</u>教室における演奏等のうち、利用の態様に鑑み本規定により難しい場合の使用料は、利用者と協議のうえ、本規定に定める使用料額の範囲内で決定する。</p>	講座 1 回 <u>あたり</u> の平均受講者数	月額使用料	5 名まで	4,500 円	10 名まで	9,000 円	30 名まで	18,000 円	50 名まで	27,000 円
講座 1 回 <u>当たり</u> の平均受講者数	月額使用料																				
5 名まで	4,500 円																				
10 名まで	9,000 円																				
30 名まで	18,000 円																				
50 名まで	27,000 円																				
講座 1 回 <u>あたり</u> の平均受講者数	月額使用料																				
5 名まで	4,500 円																				
10 名まで	9,000 円																				
30 名まで	18,000 円																				
50 名まで	27,000 円																				
<p>11 音楽教室における教師による楽器演奏等</p> <p>受講者に音楽の知識や楽器演奏を教授することを主たる事業とする施設（以下「音楽教室」という。ただし、個人で経営する教室を除く。）又はこれを目的とするレッスンにおいて、当該教授に当たり、教授を行う者（以下「教師」という。）が著作物を楽器演奏等する場合の使用料は、本節 1 から 10 の規定にかかわらず、次により算出した金額に、消費税相当額を加算した額とする。</p> <p>受講者による楽器演奏等は使用料支払いの対象ではない。</p> <p>（1） 施設単位で年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合</p> <p>1 施設当たりの年額使用料は、次のア又はイに定める額に受講者数を乗じる方法により算出した額の合計とする。</p> <p>ア 受講者 1 名につき 750 円</p> <p>イ アにかかわらず、受講者が中学生以下の場合は、受講者 1 名につき 100 円</p> <p>（2） （1）によらない場合の使用料は次のとおりとする。</p> <p>ア レッスン 1 回当たりの使用料は、受講者 1 名につき 60 円に受講者数を乗じる方法により算出した額とする。</p> <p>ただし、1 回のレッスンは 60 分を超える場合の使用料は、60 分を超えるごとに、受講者 1 名につき 60 円を加算する。</p> <p>イ アによらない場合の使用料は、著作物 1 曲 1 回ごとに定めるものとし、利用時間 5 分までの</p>	<p>（新設）</p>																				

今回届け出る規定	現行規定
<p>使用料は、受講者 1 名につき 30 円に受講者数を乗じる方法により算出した額とする。</p> <p>利用時間が 5 分を超える場合の使用料は、5 分を超えるごとに、受講者 1 名につき 30 円を加算する。</p> <p>（音楽教室における教師による楽器演奏等の備考）</p> <p>（教師）</p> <p>① 教師とは、受講者に音楽の知識や楽器演奏の教授を行う者であり、教師、講師、先生等いかなる名目によるかを問わない。外部施設に派遣された教師を含む。</p> <p>（楽器演奏等）</p> <p>② 楽器演奏等とは、演奏、録音物の再生、上映（映画フィルムを用いた上映を除く。）又は伝達（第 12 節 BGM 規定の適用を受ける伝達を除く。）することをいう。</p> <p>（年度区分）</p> <p>③ (1)の規定の年度区分は、4 月から翌年 3 月までとする。</p> <p>（受講者数）</p> <p>④ (1)の規定の受講者数は、年度内の算定基準月（年間の包括的利用許諾契約を結ぶ場合に別途定める月の 1 か月間をいう。）における在籍人数とする。</p> <p>（中学生以下の受講者）</p> <p>⑤ (1)イの規定の中学生以下の受講者とは、原則として、満 15 歳に達した日以後の最初の 3 月 31 日が終了するまでの者をいう。</p> <p>（使用料計算の特例）</p> <p>⑥ (1)の規定を適用する場合において、年度の途中に開業または廃業するときの使用料は、利用状況等を参酌して決定する。</p> <p>（1 曲 1 回ごとの使用料の特例）</p> <p>⑦ 同一の著作物を利用する場合、著作物の全部又は一部の利用回数に関わらず、通算 5 分までの利用につき 1 回とみなす。</p> <p>（その他）</p> <p>⑧ 音楽教室における教師による楽器演奏等のうち、利用の態様に鑑み本規定により難い場合の使用料は、利用者と協議のうえ、本規定に定める使用料額の範囲内で決定する。</p>	

使用料規程 第 1 節演奏等（抜すい） 新旧対照表

今回届け出る規定	現行規定
<p>第 2 節～第 17 節 （略）</p> <p>附 則</p> <p><u>（実施の日）</u></p> <p><u>この使用料規程のうち、第 2 章第 1 節 10 歌謡教室における演奏等、11 音楽教室における教師による楽器演奏等の規定については、2025 年 4 月 1 日から実施する。</u></p>	<p>第 2 節～第 17 節 （略）</p>